

第 45 回(H23 年度第 3 回)MT 委員会 議事録

日時: 2011 年 6 月 10 日 10:00-11:50

場所: RIBF 棟 203 会議室

出席: 酒井^a(委員長)、延興^{a,†}、上垣外^a、加瀬^a、久保^a、久保野^b、森田^a、本林^{a,†}、上野^a、上坂^a、
上叢^a、若杉^a

欠席: 阿部^a、福西^a、羽場^{a,†}、櫻井^a、下浦^b、寺西^{c,†}、吉田^{a,†}

^aRNC / ^bCNS / ^cRIBF-UEC / [†]Observer

(順不同・敬称略。以下同様)

【報告】

1. MT 変更(酒井)

- 実験代表者及び CNS センター長から NP1012-SHARAQ05-01 (Yako *et al.*, SHARAQ, Jun/5/9:00 – Jun/11/9:00) を 1.0 日追加割り当てするよう要望があった。その物理的意義及びこの時点での MT 運営状況を勘案し、所内関係部署ら了解を得た上で、MT 委員長がこれを認めた。
- その他 MT に関しては 5/20 以降の変更は無し。
- 本件に関連して MT 延長・追加に関するルールについて議論された。次回引き続き検討される。

2. RIBF 運転状況

- BigRIPS / ZDS / SHARAQ 健全性テスト(久保)
 - 一次ビームおよび二次ビームを最下流まで通すことにより、BigRIPS / ZDS の健全性テストを行った。テストは、いくつかの $B\rho$ 設定・イオン光学モードについて行なった。
 - オンライン解析の範囲内では、RI ビーム生成、粒子識別や通過率に特に大きな問題は発見されず、健全性が確認された。ビームライン検出器各種についても、PPAC 検出器の位置データ(垂直方向)にオフセットが出た以外は特に問題を発見できなかった(オフセットの原因は別途調査の予定)。
 - 各焦点の像倍率を測定し、概ね計算値と一致することを確認した。F7-F8 間での像のジャンプ(縦方向)は、今回も観測された。
 - SHARAQ ライン(分散整合ビームライン)についても、同様に、健全性が確認できた。
- RIBF 施設修理
 - RIPS ビームスインガーが地震により破損している。スインガーはその機能を不使用な場合でも、RIPS へのビーム輸送ダクトを兼ねているため、修復されるまでは RIPS を用いた実験は実施不可となっている。夏に修理を行う予定。(加瀬)
 - RRC コイルの層間短絡が見つかったため、夏に修理を行う予定。(上垣外)

3. PAC 進捗状況(上野)

- 9th NP-PAC: PAC 申請課題の施設側技術審査レポート、及び完了 MT の追跡調査レポートを PAC へそれぞれ提出(前者は実験代表者へも通知)。現在 PAC が事前審査を実施中。また、当会議にて、今回の PAC での採択可能日数についての検討がなされた。
- 8th ML-PAC: 8 月末～9 月初で会合日程調整中。

- In-PAC: 9月以降で会合日程を調整中。

【議題】

1. 前回議事録承認(酒井)

2. 7-9月のSHE実験について(酒井)

- この期間、社会的に電力供給量に使用量が切迫する見込みである。このような状況を鑑みつつ、SHE実験のMTを割り当てられないか検討された。関係部署・担当理事との調整を進める。

3. 下期MTについて(酒井)

- 未確定なものも含め、MT割り当ての際は下記スケジュールを配慮する必要がある。
 - 停電・メンテナンス: 和光キャンパス構内停電(10/8-10)、CGSメンテナンス(1月を予定、SRC/BigRIPS冷却停止)、構内停電予備日(3/10-11)。
 - 電力: 理研危機管理対策本部により決定された利用可能な外部電力は10.5 MW(10-11月)、8.5 MW(12/1-11)、5 MW(12/12-31)、3.5 MW(1月)そのあと3月末までは5MW。1月は実験の実施は出来ず、fRC及びIRCを用いるRIBF多段加速が可能となるのは10/11(停電明け)から12/11までとなる見込み。
 - AVFを用いた4回の東大学生実験(10-12月)
 - RRC出口への新Gas Stripperシステム導入工事(1月頃)
 - SAMURAIエリア及びその上流の工事(2月頃に3週間程度を予定)
 - STQ搬入工事(2月頃)
 - fRC改造工事(3月頃3週間程度)
- 以上を踏まえ、RIBF新施設の実験に関する基本的な方針として次の案が検討された。9月初旬よりSRC/BigRIPSの冷却を開始し、10月8-10日の施設停電の後11月末まで ^{238}U シリーズを、12月初旬に ^{124}Xe 実験を割り当てる。1月のCGSメンテの後、問題が無ければ2月中旬頃SRC/BigRIPSの冷却が完了するが、電力使用規制・工事スケジュールの影響でこのあと2月末まではAVF-RRC-SRC課題のみ割り当て可能となる見込み。3月は同様の加速モードで ^{18}O を用いたSAMURAIのCommissioning等を割り当てる。
- 以上の案は引き続き検討され、次回MT委員会で基本方針を確定する。

4. その他

- BigRIPS-ZDS間の管理区域区分け(久保・上叢)
7-9月にBigRIPS-ZDS間の放管区分け工事を行う予定だが、この区分けが放管システムへ反映されるのは12月になる。

5. 次回MT委員会の日程

- 次回MT委員会は7/15(金)13:30-で調整。
- 次々回は物理学会(弘前)があるため9/22(木)13:30-で調整。

(以上)